

## 授業科目 医療経済学

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○
【概要】				
近年、臨床現場レベルあるいは医療政策レベルでの意思決定において、レセプトデータをはじめとする医療情報の活用が極めて重要となっている。国内外の動向を踏まえ、患者の立場や社会的な立場から医療情報を活用することを視野に入れた情報管理のあり方やそのために必要となる方法論について理解を深める。				
【学習目標】				
意思決定から情報管理のあり方を考えることができる				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれの立場からの意思決定か</li> <li>・意思決定の基準・ルール・方法論</li> <li>・意思決定上の重要な指標・アウトカム</li> <li>・どういう情報が必要で、どこにどのように保存されているか</li> <li>・医療事務・医療情報・診療情報管理の専門領域はどのように協力・支援できるか</li> </ul>				
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号
1	医療における意思決定			
2	医療経済の基礎知識			
3	医療技術評価の基礎知識			
4	数理モデルに基づく医療技術評価（1）			
5	数理モデルに基づく医療技術評価（2）			
6	エクセルによる演習			
7	費用データの取り扱い			
8	効果データの取り扱い			
9	エクセルによる演習			
10	統計学の基礎知識			
11	臨床疫学研究の基礎知識			
12	患者データに基づく医療技術評価			
13	感度分析による不確実性の評価			
14	ガイドラインと批判的吟味			
15	医療技術評価の活用			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				
【評価方法】			【履修上の留意点】	
出席・課題・レポート・受講態度を総合的に評価し成績、単位認定の可否を決定する				